

「修補工事費見積り方法検討報告書」報告会

司法支援建築会議の会員を対象として、建物の瑕疵に伴う不具合の修補費用を算出するさいの指導的な役割を担う参考書を作成する委員会として「修補見積り検討小委員会」を2008年に立ち上げてからおおよそ6年の年月が経過した。

当初はさまざまな修補工事について画一的な方法で見積ることを前提にして、統一された修補費用の見積り方法の作成を目指して活動を開始した。しかし活動を続けるうちに、修補に関する裁判の内容が多様であり、修補の目的、修補すべき箇所、修補の方法とその範囲、および要求される修補後の品質が判例によって大きく異なることが分かってきた。さらに基礎工事、防水工事、設備工事などの修補の見積りについては、規模によってやや事情は異なるが概して見積書に示す施工細目が複雑になり、見積りを業とする専門の第三者に見積りを依頼することが不可欠である場合が多いことが確認された。

したがってすべての修補について画一的に見積もる方法を示すことは困難であり、むしろ小委員会では修補費用の見積り方法を一つの方法で統一することは必ずしも適切ではないと判断した。そこで、報告書では1編1章で通常的に生じる数編の修補事例について基本になる修補の見積り方法を計算例で示し、1編2章では修補の見積りの計算例のほかに、基礎工事、防水工事、設備工事などの事例については見積書などを例示して、修補の見積りをするための参考に寄与することにした。

今回、報告書がほぼまとまったので鑑定人、調停委員、専門委員をされておられる司法支援建築会議会員ならびに法曹関係者を対象にして概要を報告する。ふるってのご参加を期待する。

主 催：日本建築学会 司法支援建築会議運営委員会

日 時：平成27年5月8（金）14:30～16:00

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

司 会 池永博威（修補工事費見積り検討小委員会主査／元・千葉工業大学）
記 録 岩松 準（修補工事費見積り検討小委員会委員／建築コスト管理
システム研究所総括主席研究員）

開会挨拶

・上谷 宏二（司法支援建築会議運営委員会委員長／撰南大学）

1. 序章（10分）14:30～14:40

・池永博威（前掲）

2. I編1章「修補費用の見積り概要」（40分）（15時40分～15時20分）

・山本康弘（修補工事費見積り検討小委員会委員委員／元・東京都立大学）

・岩松 準（前掲）

3. I編2章「部分別修補工事費用の算出方法」、II編（30分）（15時20分～15時50分）

・橋本真一（修補工事費見積り検討小委員会委員委員／建設物価調査会総合研究所主席研究員、
経済研究部長）

4. 防水工事と雨漏り（10分）（15時50分～16時）

・鶴田 裕（修補工事費見積り検討小委員会委員／元・大成建設技術研究所）

・参加費：無料

・定 員：200名

・申込方法：FAXまたはE-mailにて「催し物名称、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号」を明記のうえ申し込む。

・問い合わせ：司法支援建築会議事務局 川田昭朗

TEL：03-3456-2051 FAX：03-3456-2058 E-mail：kawata@aij.or.jp